

# 工事写真報告書

工事番号 平成 28 年度

工事名 M 様 邸

工事箇所 外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 八幡東区 高見

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

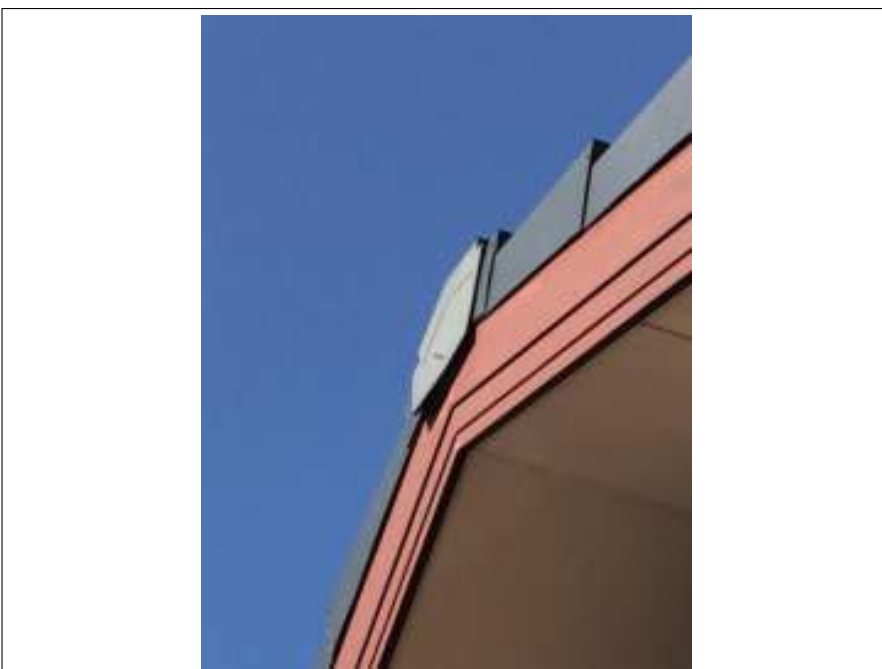
---

---



破風板

経年劣化しています。  
劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗り  
をおこないます。



破風板

釘の浮いている部分があります。  
この部分は再度打ち込みをおこな  
います。

※鉄板の場合は塗装をおこないま  
す。



破風板

同上



**破風板**

旧塗膜が剥離をおこしています。  
このまま塗装しても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜をケレン作業で除去し専用  
の下塗り・上塗りを行います。



**破風板**

同上



**帯**

経年劣化しています。  
劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



### 軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の  
塗装をしていきます。

---

---

---

---

---



### 樋

こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすること  
がありますので、塩ビ専用の下塗り  
をおこない塗装をしていきます。

---

---

---

---

---



### シャッター

この部分は鉄、スチール素材になり  
ます。劣化するとサビが発生してき  
ますので塗装が必要です。

---

---

---

---

---



シャッターBOX

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



小庇

同上



土台水切り

同上



**基礎 クラック部**

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



**基礎 クラック部**

同上

---

---

---

---

---

---

---

---



**基礎 クラック部**

この部分もシーリング補修をおこないます。

---

---

---

---

---

---

---

---



### 外壁 ピンホール

前回塗装施工時に、空気を巻き込んでしまい、乾燥過程でその空気が抜ける際に出来る穴のことです。

この現象も、防水効果を損なうことになりしますので、下地処理下塗りをしっかりおこなう必要があります。



### 外壁 クラック部

所々見られます。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修ををおこない塗装をしていきます。



### 外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



サッシ廻りシーリング劣化部

見落としがちですが、サッシ廻りも劣化している部分があります。

サッシ廻りは全面劣化は打ち増しをおこないます。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

